

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【公開番号】特開 2015-47367 (P2015-47367A)

【公開日】平成 27 年 3 月 16 日 (2015.3.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-017

【出願番号】特願 2013-181641 (P2013-181641)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/494 (2006.01)

A 6 1 F 13/496 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 K

A 4 1 B 13/02 U

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 1 日 (2016.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前胴回り域と後胴回り域と股間域とを備え、前記前胴回り域から前記股間域を経て前記後胴回り域に至る吸液構造体と、前記前後胴回り域の上端縁により形成される胴回り開口と、前記股間域の両側に位置する一対の脚回り開口とを有し、前記前後胴回り域が胴回り方向へ弾性的に伸長可能な胴回り弾性域を備え、前記吸液構造体が前記前胴回り域に位置する前端縁部と、前記後胴回り域に位置する後端縁部とを有する使い捨てのパンツ型着用物品であって、

前記胴回り弾性域には、前記胴回り開口から前記脚回り開口に向かって順に、第 1 弾性領域、第 2 弾性領域、及び第 3 弾性領域が前記前後胴回り域の前記上端縁に並行に配置され、前記第 1 弾性領域は前記前後胴回り域の前記上端縁に沿って延び、前記第 3 弾性領域は前記第 2 弾性領域と、前記脚回り開口との間に延びており、

前記胴回り方向における前記第 1 ～ 第 3 弾性領域の収縮率が、第 3 弾性領域 > 第 1 弾性領域 > 第 2 弾性領域の関係を満たし、

前記第 1 ～ 第 3 弾性領域が弾性的に弛緩した状態にあるとき、前記第 2 弾性領域が前記着用物品の外側に向けて湾曲することを特徴とする着用物品。

【請求項 2】

前記前胴回り域及び前記後胴回り域の前記第 2 弾性領域において、一対の高剛性領域が、前記前後胴回り域のそれぞれの前記上端縁から前記股間域に向かう方向に延び、前記一対の高剛性領域は前記前胴回り域及び前記後胴回り域のそれぞれの前記上端縁の前記胴回り方向寸法を二分して前記胴回り方向に直交する方向に延びる仮想中心線に関し対称である、請求項 1 に記載の着用物品。

【請求項 3】

前記吸液構造体の前記前後端縁部がそれぞれ前記前後胴回り域の前記第 2 弾性領域に接合され、

前記一対の高剛性領域が、前記第 2 弾性領域において前記吸液構造体の前記前後端縁部に、さらに繊維不織布及び樹脂フィルムの少なくとも一方を積層して形成される、請求項

2 に記載の着用物品。

【請求項 4】

前記吸液構造体の両側縁部に沿って、前記両側縁部から延出する一对の防漏カフが設けられ、前記防漏カフは少なくとも不織布を含んで形成されるとともに、前記吸液構造体の前記両側縁部に沿って延びる固定縁と、前記固定縁に対し離間並行して延びる自由縁とを有し、

前記第 2 弾性領域において、前記防漏カフの前末端及び後末端が、それぞれ前記吸液構造体の前記前端縁部及び前記後端縁部に積層され、前記防漏カフの前記前末端と前記後末端との間の中間領域では、前記自由縁が前記吸液構造体から離間可能である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 5】

前記前胴回り域の前記第 2 弾性領域と前記第 3 弾性領域との間に、弾性部材を備えない離間領域が前記胴回り方向に延び、

前記防漏カフの前記中間領域に位置する前記自由縁に沿って前記弾性部材が伸長下で接合されている、請求項 4 に記載の着用物品。

【請求項 6】

前記第 1 ～ 第 3 弾性領域が弾性的に弛緩した状態にあるとき、前記前後胴回り域のそれぞれの前記上端縁から前記股間域に向かうに従い前記一对の高剛性領域の離間間隔が増大する、請求項 2 から 5 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 7】

前記吸液構造体が透液シートと防漏シートとの間に介在する吸収体を含み、

前記吸収体は、前記前胴回り域に位置する前端縁と、前記後胴回り域に位置する後端縁とを有し、

前記吸液構造体において、前記吸収体の前記前後端縁が、それぞれ前記吸液構造体の前記前後端縁部よりも前記吸液構造体の内側に位置し、

前記吸収体の前記前端縁が、前記前胴回り域において前記第 3 弾性領域内に位置する、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 8】

前記吸収体が四隅を有する縦長形状であり、前記四隅の内角がいずれも 90°である、請求項 7 に記載の着用物品。

【請求項 9】

前記第 2 弾性領域が、前記前胴回り域に配置される前方第 2 弾性領域と前記後胴回り域に配置される後方第 2 弾性領域とからなり、

前記前後胴回り域のそれぞれの前記上端縁から前記股間域に向かうにおいて、前記前方第 2 弾性領域の下端から前記前胴回り域の前記上端縁までの離間寸法の方が、前記後方第 2 弾性領域の下端から前記後胴回り域の前記上端縁までの離間寸法よりも大きい、請求項 1 から 8 のいずれかに記載の着用物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

- 10 おむつ（パンツ型着用物品）
- 11 前胴回り域
- 12 後胴回り域
- 13 股間域
- 15 吸液構造体
- 15a 吸液構造体の前端縁部
- 15b 吸液構造体の後端縁部

- 1 5 d , 1 5 e 吸液構造体の両側縁部
- 1 6 胴回り開口
- 1 7 前胴回り域の上端縁
- 1 8 後胴回り域の上端縁
- 2 1 脚回り開口
- 2 6 前ウエストシート（外面を構成するシート部材）
- 2 7 後ウエストシート（外面を構成するシート部材）
- 4 0 胴回り弾性域
- 4 1 第 1 弾性領域
- 4 2 第 2 弾性領域
- 4 2 A 前方第 2 弾性領域
- 4 2 B 後方第 2 弾性領域
- 4 3 第 3 弾性領域
- 4 4 第 1 離間域
- 4 5 第 2 離間域
- 5 0 透液シート
- 5 1 吸収体
- 5 1 a 吸収体の前端縁
- 5 1 b 吸収体の後端縁
- 5 3 防漏シート
- 6 0 弾性不織布
- 6 0 a 弾性不織布の上端
- 6 0 b 弾性不織布の下端
- 6 5 第 5 弾性系（複数の弾性系）
- 6 7 前方第 2 弾性領域の下端
- 6 8 後方第 2 弾性領域の下端
- 6 9 第 3 弾性領域の上部端
- 7 0 高剛性領域
- 8 0 防漏力フ
- 8 0 a 前末端
- 8 0 b 後末端
- 8 4 固定縁
- 8 5 自由縁
- 8 6 中間領域
- L 1 離間寸法
- L 2 離間寸法
- P 仮想中心線